

たぐすい

TAKUSUI
No. 743

兵庫の漁業人のための情報誌

9

September 2018

発行 (一財)兵庫県水産振興基金



沼島の上立神岩 (南あわじ市沼島)

ひょうご豊かな海フェスティバル開催 兵庫県・ワシントン州姉妹提携55周年記念事業

《今月の海上安全標語》 ～ 守るのは自分自身 ～

ライフジャケットを着用していますか？ いくら法律で義務化されても、着けるかどうかは貴方の判断！
自分のため、そして家族のためには是非着用して下さい!!

あなただけ! 自分の命を 守るのは!! では、今月も安全操業で!

ようこそ

「ずっと真っ直ぐに」

（ようこそとは航海用語で「宜しく候」の意。主に船を直進させるときに号令として使われる）

一念発起

大輪田塾一期生（JF浜坂） 濱根 秀樹

（美 寿 丸）



長い間、船長（漁撈長）をやつて来て、最近では体型とか体調を気にするような歳になりました。若い頃は、夜に飲みに行ったり、船では四食の食事や不規則な食事で暴飲暴食をするなど、かなり体に負担を掛けていました。

嫁さんが居たときは、体にやさしい手料理や、甘い物の摂取は控えめにと叱ってくれるくらい私の体の事を考えてくれましたけど、亡くしてから、自己管理しないとイケない状態になりました。笑い話になりますが、お酒を飲むと何でも食べたくなるし、締めにはラーメンなど、体には過ぎるほど栄養たっぷりです。しかも、船で体を頻繁に動かせば消費するのですが、職務上、動く仕事は若い乗組員が担当で遠ざかってしまえばかりです。

ある日人間ドックで、「少し数値が掛かっています」と言われてしまい、もしも嫁さんが居たら「普段の生活を変えなさい」と当然の事で言われるだろうな〜と思い、一念発起、現在進行形で頑張つてダイエットと生活改善に努めています。しかし、普段の付き合いでのお酒の席を控えるのは難しく悩むどころです。

今までにも色々な改善をやつて来ましたが中々上手くいきません。船に乗ればツイイ食べてしまいますし、でも、医師に「将来の自分を楽にしようと思うなら、今改善しないと重く押し掛かりますよ」と言われ、反省しつつ更なる行動を起こそうと思つています。

しかし、体に付いた脂肪は何年物でしょうか？若い頃は燃焼率が良かったけれど、歳を重ねるに従い道のりは遠いと感じ、悲しく思つています。でも、漁師は体が資本ですからストレスを溜めないよう体づくりをしたいと思つています。

追伸、良い方法をご存知の方は、ぜひご一報を下さい。

CONTENTS

No.743 September. 2018

- 2 ようそろ
- 3 ひょうご豊かな海フェスティバル
- 4 JF浜坂 沖底・イカ釣り兼業船 幸榮丸 竣工
兵庫県漁港漁場協会通常総会・漁港漁場大会
- 5 淡路市水産まつり
北淡小学校6年生、干しダコ作りに挑戦
県立水産技術センター研究発表会のご案内
- 6 「兵庫県民交流団」ワシントン州訪問
- 7 なぎさ信漁連 但馬で事業承継セミナー
- 8 大輪田塾 香川県現地視察研修開催
- 9 兵庫JCC通信
- 10 旬に想う
台風被害 高野山「漁友鎮魂之塔」も被害



「沼島の上立神岩」（南あわじ市沼島）

表紙の言葉

沼島の裏海岸には国生み神話のモデルといわれる奇岩が多くあります。その象徴が神話にある天の沼矛のモデルとも、天の御柱にモデルともいわれる上立神岩です。

最近ではハートマーク模様が有名で恋愛成就のパワースポットとしても訪れる人が増えているようです。ハートマーク、みつげられましたか？（ヒント：中央部）

「ひょうご豊かな海フェスティバル」開催

ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会（突々 淳会長）は、多様な生命を育む「豊かで美しい海」の必要性を多くの県民の皆様にも考えていただく契機とするため「ひょうご豊かな海発信プロジェクト」に取り組んでいます。その一環として「ひょうご豊かな海フェスティバル」を9月29日（土）に須磨海浜公園で開催します。

当日はグルメ・音楽など様々なイベントが催されますので、ぜひご来場ください（詳しくは表記ポスター・HPをご覧ください）。

夏の終わりに須磨海岸で
音楽やグルメ、体験イベントを楽しもう♪

ひょうご
豊かな海
フェスティバル

2018 9.29 10:00 ~ 16:30 [sat]

「豊かな海って 食べる・学ぶ・体験するを
どんな海?」 通じて「豊かな海」を
感じに来てください♪

場所 須磨海浜公園

司会 Kiss FM KOBE サウンドクルー
ターザン山下

HYOGO 150th Anniversary

みんな待ってます♪

STAGE イベント

10:00~ 開会式

10:30~ 兵庫県警察音楽隊
兵庫県警察音楽隊によるステージ

11:40~ 兵庫大学附属 須磨ノ浦高等学校
地元・須磨ノ浦高校 吹奏楽部、ダンス部、カラーガード部によるパフォーマンス

13:00~ KOBerries♪
神戸市各区の代表から選ばれたオール神戸っ娘の神戸発! アイドルユニットのスペシャルライブ

14:00~ フラ・ポリネシアンショー
ハワイアンバンド演奏「マノアレインボー」、フラ教室の皆様によるフラ・ポリネシアンショー

15:30~ Kiss FM KOBE 公開収録
LIVE&TALKゲストに矢井田瞳さんを迎えて Kiss FM KOBEの特別番組の公開収録を開催! みんなで一緒に豊かな海について考えましょう♪

スペシャルゲスト 矢井田瞳

※開催時によりイベントの内容が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

Facebookで情報配信中!! <https://www.facebook.com/hyogo.yutaka.umi/>

主催：ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会
構成団体：兵庫県、神戸市、明石市、兵庫県漁業協同組合連合会

後援：Kiss FM KOBE

当日の開催情報（決行・中止）のご確認は Facebookページにてご確認ください。

【お問い合わせ】Kiss FM KOBE TEL:078-322-0899（平日10:00~18:00）

JF浜坂

沖底・イカ釣り兼業船

幸榮丸竣工

8月29日(水)、浜坂漁港において、沖合底曳網・イカ釣り兼業の新造船 幸榮丸(144トン)・(有)幸榮代表取締役 川越一男(船主)が竣工し、多くの漁業関係者にお披露目されました。

当船はJF浜坂が取り組む地域プロジェクト・改革型漁船等の収益性改善の実証事業として建造され、従来船と比べ乗組員の居住区が船体上部にあり、甲板上の作業場を密閉空間にするなど居住・労働環境を向上させ、燃費も約10%良いのが特徴です。

引き続き同町内で行われた進水祝賀会では、関係者約200人が新造船の竣工を祝うとともに、安全操業と大漁が祈念されました。

JF浜坂では9年ぶりの新造船で地元の期待も大きく、地域経済への貢献や兵庫県但馬地域の漁業をリードするモデル船としての活躍が期待されます。

また、但馬地域では、9月1日(土)より沖合底曳網漁・ベニズワイガニカゴ漁が解禁となりました。今漁期の操業安全と豊漁を祈念いたします。



兵庫県漁港漁場協会通常総会・漁港漁場大会を開催 ～県下各地から178名が集結～

兵庫県漁港漁場協会(会長・浜上勇人 香美町長)では、8月28日(火)神戸市北区のホテルにおいて、「第67回通常総会」及び「第58回兵庫県漁港漁場大会」を開催しました。

初めに、事務局から一般財団法人兵庫県水産振興基金の入会(平成30年7月18日の役員会で承認)により、現在の会員数は51となる旨の報告がありました。

通常総会では、浜上会長から「漁業関係者が一致団結して、漁業の根幹となる漁港漁場という基盤整備を着実に促進する重要な責務に邁進する」との開会挨拶があり、県農政環境部 藤澤 崇夫部長から「活力ある漁港・漁場・漁村づくりに取り組んでいく」との心強い来賓祝辞が述べられました。その後、南淡漁業協同組合 橋本 昌和組合長が議長に選出され、事業報告や事業計画など、予定された全ての議題が原案どおり可決されました。

引き続き開催された漁港漁場大会には、県下各地から178名が参加し、公益社団法人全国漁港漁場協会松岡英二理事から来賓祝辞をいただき、姫路市水産漁港課長 藤原 孝樹課長が議長に、室津浦漁業協同組合 連 勝也組合長が副議長に選出され、潤いと活力ある漁港・漁場・漁村づくりに邁進する」という神戸市水産課 山口 隆喜水産担当課長の力強い大会宣言のあと、次の議案が満場一致で承認され、淡路水交会 東根 壽会長が決議文を読み上げました。

1 漁港漁場整備長期計画の推進と平



成31年度予算の確保

2 漁港海岸事業の促進と平成31年度

予算の確保

3 豊かな海の再生

4 県の漁港漁場整備等に対する施策の強化

今後、これらの決議の実現に向けて、公益社団法人全国漁港漁場協会や他府県の漁港漁場協会等と連携して、農林水産省等の関係機関、国会議員、県議会議員、県当局に働きかけていくこととなります。

その後開かれた情報交換会は、副会長の兵庫県漁業協同組合連合会 田沼 政男会長の挨拶の後、県水産課資源増殖室 中岸 明彦室長の乾杯に始まり、摂津漁業協会 福田 一義会長の中締めで、盛況のうちに行われました。



淡路市水産まつり 開催

淡路市内のJF等で構成される淡路市漁業振興協議会（社領 弘会長・JF一宮町）主催による「淡路市水産まつり」が、9月1日（土）に淡路市の室津浦漁協荷捌き所で開催されました。

同祭りは、平成27年から開催されており、魚離れを少しでも止め、地元魚をもっと市民に知ってもらおうとの思いから、今回で4回目の開催となります。

生憎の雨模様のなかにも関わらず、タイやタコなどの鮮魚や海苔などの加工品が格安で販売されるとあって、開始前から長蛇の列ができ、タコ飯、八毛汁の振る舞いが各300食無料で振るまわれ、約1時間でなくなるなど、会場は、約3,000人の来場者が訪れ盛況のうちに終了しました。

（文：淡路市漁業振興協議会）

北淡小学校6年生、干しダコ作りに挑戦

9月7日（金）淡路市漁業振興協議会（JF一宮町 社領弘会長）主催の「おさかな教室」が淡路市立北淡小学校の6年生30名を対象に行われました。この教室は、兵庫県漁業士会による第1回の開催から数えて今年で第10回目となります。この日のスタッフは同協議会と県、淡路市職員に加え、地元4漁協（富島、浅野浦、育波浦、室津浦）の職員も集まり総勢17名となりました。

社領会長の挨拶のあと、干しダコ作りがスタート。まず、お手本として洲本農林水産振興事務所水産課の高倉職員と高木職員が、マダコの急所を突いて締め、一瞬でタコの体が真っ白になる様子を見せた後、内蔵を取るなど下処理を実演しました。その後、児童1人ずつに活きたタコが手渡され、



下処理に挑戦です。活きの良いタコを締める作業に手こずる児童が多かったものの、スタッフの補助もあり下処理が完了。次はタコを吊して干す作業を実演し、児童らも見よう見まねで作業を始めました。ぬるぬるのタコがうまく持てず地面に落ちてしまう児童や、干しダコの形に上手く仕上げられない児童など、なかなか苦戦したようですが全員が干しダコを作り上げることができました。

このあと、高倉職員と高木職員から、クイズを交えた「淡路市の漁業について」と題した話があり、児童らは熱心に聞き入っていました。なお、干しダコは、下校時間まで学校で天日干しされたあと、児童が家に持ち帰りました。

児童たちからは、「気持ち悪かったけど楽しかった」、「締めるのが難しかった」、「お母さんにタコ飯を作ってもらおう」などの声が聞かれ、貴重な体験となったようです。

県立水産技術センター研究発表会のご案内

兵庫県立水産技術センター（明石市二見町南二見22-2）では、10月24日（水）午後2時～4時に研究発表会を開催します。多数のご来場をお待ちしています。

プログラムなど詳細は <http://www.hyogo-suigi.jp> のイベント情報、または当センター（078-941-8602）までお問い合わせください。

※事前申し込みが必要です。

兵庫県・ワシントン州姉妹提携55周年記念事業 「兵庫県民交流団」ワシントン州を訪問 水産団体から8名が参加



兵庫県とワシントン州の姉妹提携は、昭和38年10月、当時の金井元彦知事とアル・ロッセリー二知事の調印締結に始まり、今年、55周年を迎えました。この節目の年を記念して、去る7月27日、ワシントン州にて、共同声明調印式や記念レセプションが催されました。本県からは、井戸

敏三知事を総団長に各界関係者ら約100名が参加し同州民とともに55周年を祝いました。県事務局から、広範な県民の参画によるワシントン州民との草の根交流を通じて両州の絆を一層深めようとの呼びかけで、いろいろな分野から代表団の派遣があり、当基金も、兵庫県民交流団（東根壽団長）の一員として8名が参加しました。県民交流団は、7月24日（火）から31日（火）までの8日間、ワシントン州での記念事業や州民との交流の輪を広げるとともに、サンフランシスコ観光やロサンゼルス郊外のアナハイムでの本場メジャーリーグ、アナハイムエンゼルス試合観戦など貴重な体験をしてきました。

24日に関西国際空港を発った一行は、ロサンゼルス国際空港を経由し、アメリカ西海岸の観光都市

サンフランシスコへ入りまし。翌25日は、映画「アルカトラズからの脱出」や著名なギャングであるアル・カポネも収容され、脱出不可能として知られた監獄島アルカトラズ島をフェリーから見学しました。実際に島へ上陸しアルカトラズ刑務所内を巡るツアーもあるのですが予約なしでは参加できないほど大人気だそうです。また、島内は保護区域が設けられており、多くの海鳥の生息地となっていました。その後、優美な赤い吊り橋、ゴールデンゲートブリッジを訪れ記念撮影を行いました。

翌26日、空路にてアメリカ西海岸ワシントン州最大の都市シアトルへ移動し、8名は他の団員とは別行動をとり、シアトル市内の水産関係の視察を行いました。まず、アトランティック地区の魚屋フィッシュガイズへ。小規模な魚屋で切り身中心に水産物が販売され、「UNAGI」「TAKO」など日本名での表記もあり、イ



ゴールデンゲートブリッジ

トインではブツ切りにしたマグロ・アボガド等をご飯の上に載せるといふ「POKE」が食べられます。このPOKEはシアトルで人気だそうです。市内にも専門店がありまして。しかし、ここで食べたのはUNAGI丼。16ドルで2人前はあろうかの量でしたが、ご飯にタレがかかっているのが残念。

次に日系スーパーマーケット宇和島屋へ。名前のとおり愛媛県出身の日系人によって設立された大型店舗で、カップヌードルや醤油など各種調味料など日本の商品も多く販売されていました。水産物のスペースも大きく刺身用の柵、寿司などの加工品から活エビ・カキ等が販売されていました。また、兵庫県海苔指定商社である高岡屋の海苔も販売されていました。

その後、シアトルの水揚げ漁港フィッシュヤーマンズスターミナルへ。漁港は淡水のユニオン湖にあり、海水と淡水を分断できる水門を通って海へ出るそう、淡水に船を停泊させることにより劣化が軽減されるようです。残念ながらアラスカでの鮭漁が始まりほどんが出船し船は少ない状態でした。

翌27日は、式典が行われる州都オリンピアへ移動。姉妹提携55周年記念共同声明調印式は、オリンピア州議事堂上院議場で行われました。式辞で、インズリー州知事は、日本との経済交流や国際貿易を重視するとともに、地球温暖化や頻発する自然災害への対策が

両州の共通課題であることに触れ、兵庫県と連携する意向を示しました。また、井戸知事は、同式典の準備委員会へ感謝の意を表明し、「今年で県の誕生150周年を迎える兵庫県は、約150ヶ国・10万人の外国人が居住する多文化共生社会であり、その多様性がアメリカにおける多文化共生の先進地であるワシントン州との最大の共通点である。世界がどんどん狭くなっている中で、地域の課題は世界の課題として取り組む必要がある。強力な協力の協定にサインさせていただきたい」と述べ、さらなる交流を確認する兵庫県・ワシントン州姉妹提携55周年共同声明に調印し、インズリー知事と固い握手を交わしました。また、式典では、併せて、兵庫県立大学とエバーグリーン州立大学の学術交流協定締結、新西宮ヨットハーバーとオリンピア港湾局とのマリナー協定締結も行われました。式典後、インズリー州知事公邸にて行



インズリー州知事公邸にて

われた両県州民交流パーティーは、ビュッフェ料理での立食スタイルでワイン片手に歓談し、温かく思い出に残る交歓会となりました。

28日は、知事も合流され大型観光バスごとフェリーへ乗りピュージェット湾にある日本人移民・日系人が移り住んだベインブリッジアイランドへ。イチゴ栽培などで生計をたてていた日本人移民の人々は第2次世界大戦が勃発し、アメリカ中部の強制収容所へ送られ大変な苦勞をされた歴史を学びました。その後、ワシントン州では初めてのワシントン州産のオーガニック穀物を使いすべての工程を手作業で蒸留酒を製造している蒸留所、ベインブリッジ・オーガニック・デイスティラーズを訪れ、ウイスキー、ウォッカ、ジンを試飲。その中でも超高級ウイスキー「山」は宇和島屋で一瓶800ドルで販売されていたことを思い出し、思わずおかわりしました。夜はシアトル市内へもどり、年に一



トーチパレード



エンゼル・スタジアム

度の夏祭り「シーフエア・トーチパレード」を見学。企業や団体の巨大なバルーンやフロート、さまざまなコミュニティ・グループなど100以上の団体が参加するパレードで、ハーレーダビッドソンに乗った白バイ隊の一派乱れぬ操縦テクには圧巻されました。

翌29日は、空路でロサンゼルスへ。ロス郊外のアナハイムへ移動し、エンゼル・スタジアムでアナハイムエンゼルスVSシアトルマリナーズを観戦。大谷選手が怪我で休んでいた時期なので出場するか危ぶまれましたが代打で登場。残念ながら三振でしたが、本場メジャーリーグ観戦を楽しみ、翌日に帰国の途につきました。

当基金東根理事長は兵庫県民交流団の団長として、現地の方々や参加者の皆様との交流を深める大役を務めあげられました。参加された皆さま、大変お疲れ様でした。

なぎさ信漁連が但馬で事業承継セミナーを開催

8月17日（金）、なぎさ信漁連と農林中央金庫は、但馬漁協香住支所に所属する沖合底曳網漁業・ベニズワイガニカゴ漁業の船主を対象に「地域の事業承継を考える勉強会」を開催しました。

なぎさ信漁連 里常務から開会の挨拶として「金融という枠にとらわれず、浜に対するさまざまな機能提供の形を模索中」とセミナー開催に至った想いが述べられました。同信漁連が地域の漁業者を対象にセミナーを開くのは初めての取組となります。

セミナーの講師を務めたのは、企業コンサル・人材育成等を手掛ける「㈱後継者の学校」の大川原基剛代表取締役。事業承継の実態や失敗事例について大川原代表により説明が行われた後、参加者は2グループに分かれて、自身が考える事業承継の課題について意見交換を行いました。

大川原代表は、事業承継の本質について、継がせるもの（経営者）にとつては「次世代へ価値を繋ぐこと」とする一方、継ぐもの（後

継者）にとつては「新しい価値を生み出すため、積み上げた価値を受け取る超友好的な『のっとり』である」と述べ、継がせる者・継ぐ者の両者が主体的となつて事業承継を考える重要性について指摘しました。

また、大川原代表は事業承継について「後継者も経営者も初めての仕事で何をやればいいのか分からない場合が多い」と述べた上で、「経営者が事業承継に向けて今から取り組むべきことは、自社の経営状態を整理して、価値を繋ぐために事業を磨き上げること。後継者はいつでも経営者に代わられる準備のため、『心』（経営者となる決意と覚悟のマイインド）・『体』（結果を生み出す思考・行動特性）・『技』（ビジネス・お金・人・組織・マネジメント全般に関する知識）を鍛えること」と指摘しました。

セミナー後、各グループからは「事業承継のことを考えなければと思っているが進められていない」「事業承継について考えさせてもらうきっかけとなった」といった感想が発表されました。

なぎさ信漁連と農林中央金庫は、来年6～8月は、後継者を対象に、経営知識等を身に付けるためのセミナーを開催する予定です。

（※）但馬漁協香住支所のほか、浜坂漁協においても同様のセミナーが開催されています（8月6日）。今後、但馬の他地区においても、希望に応じてセミナーを開催する意向とのことです。



大輪田塾 香川県現地視察研修開催



まで予定が入っているそうです。その後、工場を案内していただきましたが撮影は禁止。3億円のプレジャーボートや淡路島の某漁協の海苔刈取船が造られていました。



高松市屋島 香川県水産試験場

香川県水産試験場を訪れ、香川県の漁場環境について説明を受けました。当試験場の棚野 元秀場長と向井 龍男副場長より赤潮による漁業被害防止、軽減化を図るための赤潮に関する調査や貧酸素情報調査、香川県の重要な産業であるイリコ原料となるカタクチイワシの資源調査について説明を受けました。近年、燧（ひうち）灘では夏期の水温上昇に伴い、赤潮により貧酸素状態となり天然魚や養殖魚のへい死が

発生しているようです。また、香川海面におけるカタクチイワシの発生卵数とチリメンからカエリの漁獲量の関係では、以前は、卵数が多いと漁獲も多く、卵数で漁獲量を予測できたが、近年は卵が多いにも関わらずチリメンが少なく漁獲予想が非常に難しくなっており、仔魚密度調査や仔魚餌量環境調査研究を行っているそうです。その後、増養殖実験棟や飼育棟へ移動し、水槽で完全養殖されたカタクチイワシをはじめ、タケノコメバル稚魚やタイラギ貝種苗生産を見学しました。



東かがわ市 JF引田 安戸池

安戸池にある体験学習館を訪れ、昭和3年に日本で初めて野網 和三郎氏によりハマチ養殖に成功した海水池である安戸池やハマチ養殖について説明を受けました。JF引田の川崎 美樹参事

より、引田では8経営体がハマチ養殖を行っており、養殖場は沖合6キロ、四方25メートルの小割生簀で養殖されており、この様な深い生簀は珍しく、赤潮時に魚が逃げられるようになっていくそうです。また、「ひけた鯽」として地域商標登録消され販売されており、香川ブランドハマチ三兄弟の1品種となっています。また安戸池は管理釣り場を中心に、ハマチへの給餌体験やハマチ等について学べる「体験学習館マレリッコ」や活ハマチ販売や食事ができる「ワーサン」を併設した家族で楽しめる複合施設になっていました。



今回の視察で、船の構造や設計、近隣県である香川県の漁場環境や種苗生産、ハマチ養殖の歴史や体験学習館での観光漁業の取組について幅広く知識を深めました。

本年度の大輪田塾現地視察研修は8月21日（火）～22日（水）に、塾生をはじめ計11名の参加で行われ、香川県のワイエム志度・香川県水産試験場・JF引田の3か所を訪れました。

さぬき市 ワイエム志度株式会社

ヤマハ発動機株式会社の子会社の漁船・和船・プレジャーボートの受託製造を行っている、兵庫県の漁船も多く製造しているワイエム志度を訪れました。代表取締役の大栗 裕二社長より、会社の歴史をヤマハ発動機株式会社マリン事業本部西日本営業所の谷本 一志氏より工場で製造されている船舶や受注状況について説明を受けました。工場では漁船リース事業等で受注多く2021年

丹波大納言小豆の 生産拡大に向けて ～生産振興会を設立～

JA丹波ひかみは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取り組みについて、自己改革プログラムを定め、役職員一丸となって進めています。

同JAは、農業者の所得増大にむけて、丹波大納言小豆の生産拡大に取り組んでいます。産地を維持発展させるために、生産農家が栽培に関する情報共有と技術研鑽により安定生産及び品質向上を目指すとともに、会員相互の交流を促し仲間づくりをすることで生産意欲の高揚を図ることを目的に、6月4日に「丹波大納言小豆生産振興会」を設立しました。

また、同JAは、丹波市産の丹波大納言小豆を100%使用した「小豆茶」を開発し、5月から販売を開始。ポリフェノールが含まれ、ノンカフェインで小豆の香りが楽しめます。小豆茶は同JAの直売所で購入できます。

さらに、JAでは通常の営農指導員の指導に加え、小豆を栽培する熟練生産者を「小豆生産アドバイザー」に任命し、JA職員とともに圃場巡回をしたり、栽培講習会で栽培技術の指導をしています。



丹波大納言小豆生産振興会が設立。丹波大納言小豆の安定生産、品質向上をめざします



丹波市産の丹波大納言小豆を100%使用した小豆茶]

第30回近畿地区生協・行政合同会議 テーマ： 『安心してらせる 地域社会づくりをめざして』 ～誰一人取り残さない社会の実現に向けて～

8月29日(水)、「第30回近畿地区生協・行政合同会議」が、「安心してらせる地域社会づくりをめざして～誰一人取り残さない社会の実現に向けて～」をテーマに琵琶湖ホテル3階「瑠璃」で開催されました。

この会議は、近畿2府4県と福井県を加えた7府県の生協連合会で構成する「近畿地区生協府県連協議会」主催で毎年開催しています。

30回目となる今回は、日本生協連や府県生協連の担当者と、厚生労働省や各府県の自治体生協担当者を交え、総勢41名が参加しました。会議は、活動の交流と協働、連携によって安心してらせる地域社会づくりへつないでいくことを目的に開催しました。

各府県連からの事例報告では、①奈良県生協連合会が「奈良県における生協と社会福祉協議会との連携」②京都府消費生活安全センターからエシカル消費推進ネットワークの取り組み③一般社団滋賀グリーン購入ネットワークから活動]紹介④KC'sから特定適格消費者団体としての一年間の取り組みについての4つの報告がありました。社会的課題解決に向け連携・協働の着実な成果と、一層の促進の重要性を確認できる大変有意義な会議でした。



<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



旬に想う

写真と文
遊方子



子規と漱石と虚子

◆このトリオでの話題といえば《俳句》である。漱石は英国留学中、子規の病いを気遣う手紙を何度も送り、虚子へは本音を漏らす内容の手紙を書き、ホームシックで日本を恋しがり、夫人を思うなど人間らしい面を晒す。俳句は留学前、漱石の下宿へ子規が来、愚陀物庵と称して仲間と句会をやった事に影響され、沢山の句を作り子規に添削を依頼する。子規の『柿喰えば鐘が鳴るなり法隆寺』は、前年に漱石が詠んだ『鐘つけば銀杏ちるなり建長寺』を発展させた句らしい。柿と法隆寺の取合せに妙あり。虚子の『去年（こぞ）今年貫く棒のようなもの』は何か絵にし難い奇妙な不思議さがある。凝縮した十七音の世界最小の詩から何を感じ取るか、読み手次第である所が俳句の善さなのだろう。

◆明治22年5月、子規は肺結核と診断される。此の時代、肺病は不治の病いの代名詞だった。鳴いて血を吐くホトトギスと言いつ、漢字で子規や時鳥と充てる。咯血した日に四・五十も俳句を作った。「卯の花をめぐって来たか時鳥」卯の花の散るまで鳴くか子規卯年生まれの正岡常規が子規と号するのは此の日からで、卯の花は自身を意味している。田舎に帰るといふ子規を親友の夏目金之助が、不如婦とも書くホトトギスを使い『帰ろふと泣かずに笑へ不如婦』と激励する。また子規の作品集を読んで、その感想を書いて『漱石』と初めて署名する。この瞬間、明治の偉大な文学者二人が、出揃った事になるのである。

◆余命十年と宣告された子規は、アレもしたいコレもしたいと生き急ぎ、駆けるように活動を始める。日本新聞社の社員になった子規は、社長の陸羯南を敬って愛され、明治27年家庭向け新聞「小日本」の編集を任される。俳句革新を目指して俳句を公募し紙面に発表、月並的なものを排除し写生を実践したが、日清戦争で人手を取られて、5ヶ月で廃刊となる。暇になった子規は、手帳持参で散歩しては実景を写し、作句に専念した。いわゆる写生句を沢山拵えた。

◆高浜虚子が子規と関わるのは学生時代。同窓の河東碧梧桐を介し、子規へ手紙を書いて文学について教える乞うたのが始まりで、丁寧な返書を書く。その手紙の端に発句があり批評を求められたり、俳句を好んだ碧梧桐の影響を受けて虚子も次第に作句し、子規に直して貰う。まだ月並俳句の域を出ない俳句だった。碧梧桐は漢字検定試験で読み方を問われる人物だが、子規没後に虚子と俳界の双壁と言われる存在になる。漱石は晩年、午前中に連載小説の一回分を書き、午後は書画を描いた。その数量は膨大で、俳句も二百六十句を残している。

台風被害 高野山「漁友鎮魂之塔」も被害

台風被害にあわれました関係者の皆様、お見舞い申し上げます。

8月23～24日に近畿に上陸した台風20号と9月4日に上陸した台風21号は県内漁業施設への被害や大量の打ち上げゴミをもたらしました。また、和歌山県高野山にあるJF兵庫漁連の慰霊供養塔「漁友鎮魂之塔」では巨木が倒れ慰霊塔を直撃し塔部分が後ろへ倒れ、周りの石垣も倒壊する被害がありました。

幸いにも慰霊塔は割れておらず、組み直しが行われ修復される予定です。

